

●千葉県千葉市立花園中学校

学習意欲の向上をめざして、 全教科で2色プリントを活用。

花園中学校では、学習指導要領の改訂に伴う学習内容の変更に合わせ、「子どもの表現力を高める指導の工夫」を研究しており、この研究課題を念頭に学習意欲の向上を図る授業を展開。この中で、2色プリント教材を用いた指導法を探っています。全教科で2色プリントの活用を研究していることが本校の大きな特徴です。



白井雅一校長

表現力を高める 指導の一環として

昭和22年に開校した千葉市立花園中学校（白井雅一校長）は、生徒879名、教職員58名と千葉市で有数の大規模校です。静かな住宅地に建つ校舎では、いま改築工事が行われています。

同校が研究助成校として2色デジタル印刷機を導入したのは、昨年8月。さっそく、研究主任の多田健芳先生（社会科担当）が中心となって全教科で2色プリントの活用が試みられました。

「初めて2色プリントを配付したとき、子どもたちが、おうつと驚きの声を上げたものです。よほど新鮮だったのでしょうね」（多田先生）

今年4月から赴任した白井校長も、

「2色プリントはこの学校で初めて目にしました。単色に慣れていたなので、新鮮だったし、フルカラーとは違う2色のインパクトを感じました」と言います。

同校で2色プリントが全教科

にわたって積極的に試みられたのは、学習指導要領の改訂に伴い、「表現力を高める指導の工夫」を研究課題として進めてきたため、教材などにおける2色プリントの活用が研究の幅を広げるとの期待があったからでした。

3月末にまとめられた平成20年度『研究報告書』の中から、各教科の先生方が2色プリントでどのような取り組みを行い、あるいは志向したかについて、その項目や反応を紹介します。

全教科の具体的な取り組み例

◎国語科Ⅱワークシートや小テストの作成で取り組めると考える。

◎社会科Ⅱ学習プリントで重要語句、学習課題の提示など。テスト問題で、答えるときに気をつける部分の強調、観点・得点の提示など。写真資料。

◎数学科Ⅱ関数の問題でマス目に色をつけたり、図形の問題で条件を青くしたりして問題

を分かりやすくする。

◎理科Ⅱ観察実験レポートで特に注意を促したい点（間違った点や正しい操作等）や要点、理科の用語に色をつけて注意を喚起する。

◎音楽科Ⅱ学習カードのポイントや進め方、楽譜に表現のポイントを色で示して、強く意識させる。

◎美術科Ⅱ制作カードの重要事項や強調したい点に色を使う。

◎保健体育科Ⅱ学習カードでキーワードに色を使う。

◎技術・家庭科Ⅱ文書処理ソフトで文書づくりをした際、見本を2色刷り。処理ソフトの主な機能に色を用いて効果があった。



多田健芳先生

実験の注意事項を赤で示して強調



2色プリント
で写真の効果が
高まった学年だより



生徒に読みやすいと好評の青と黒の組み合わせ

学年	科目	単元	単元	単元
1年	国語	1. 小説の読み方	2. 小説の読み方	3. 小説の読み方
2年	国語	1. 小説の読み方	2. 小説の読み方	3. 小説の読み方
3年	国語	1. 小説の読み方	2. 小説の読み方	3. 小説の読み方
4年	国語	1. 小説の読み方	2. 小説の読み方	3. 小説の読み方
5年	国語	1. 小説の読み方	2. 小説の読み方	3. 小説の読み方
6年	国語	1. 小説の読み方	2. 小説の読み方	3. 小説の読み方
7年	国語	1. 小説の読み方	2. 小説の読み方	3. 小説の読み方
8年	国語	1. 小説の読み方	2. 小説の読み方	3. 小説の読み方
9年	国語	1. 小説の読み方	2. 小説の読み方	3. 小説の読み方

合唱の練習スケジュール表

学年	科目	単元	単元	単元
1年	国語	1. 小説の読み方	2. 小説の読み方	3. 小説の読み方
2年	国語	1. 小説の読み方	2. 小説の読み方	3. 小説の読み方
3年	国語	1. 小説の読み方	2. 小説の読み方	3. 小説の読み方
4年	国語	1. 小説の読み方	2. 小説の読み方	3. 小説の読み方
5年	国語	1. 小説の読み方	2. 小説の読み方	3. 小説の読み方
6年	国語	1. 小説の読み方	2. 小説の読み方	3. 小説の読み方
7年	国語	1. 小説の読み方	2. 小説の読み方	3. 小説の読み方
8年	国語	1. 小説の読み方	2. 小説の読み方	3. 小説の読み方
9年	国語	1. 小説の読み方	2. 小説の読み方	3. 小説の読み方

トーナメント表

◎英語科Ⅱワークシートの重要
語句、授業の流れ、学習指導
案で生徒の実態に関するグラ
フなどを色分け。

2色写真に
リアル感と教育効果が

理科が専門の白井校長は、

「理科実験で事故を防ぐため
に、絶対にしてはならないこと
や注意事項を赤色で大きく印刷
すると、子どもたちに分かりや
すいし、定着しやすいと思いま
す。技術・家庭など実技のある
教科では同様の目的で活用でき
ますね」
と話します。

また、長年、プリント教材を
活用して授業を進めてきた多田
先生は、

「全体として言えることは、こ
れまでの単色刷りでは太字など
で強調したり、注意を喚起して
きた部分に、色を用いると効果
が大きいということでしょう。
私自身は、写真を2色プリント
することでリアル感が出るし、

教育効果も現れていると考えて
います」
と言います。

アンケートで生徒の声を聞く

同校では導入1カ月後、2カ月
後の2回、生徒にアンケート調
査をしています。1カ月後の調査
では、「見やすい・びっくりした・
分かりやすい」という声が圧倒
的。2カ月後の調査では、色の
組み合わせで「青と黒」に大半
の生徒が「いちばん読みやすい」
と答えています。

約10カ月たった現在、教科に
よって活用の頻度にはばらつきは
ありますが、白井校長は次のよ
うに語ります。

「かつてパソコンになじむため
に時間がかかった経験がありま
す。2色プリントも同じです。
未経験のものは初めはとっつき
にくいものですが、実践すると
難しくないと分かるのですね。
使い道は大いにあると考えます
から、これからもさらに研究し
ていきたいと思います」